

農業法人の設立続く ～後継者不足，話し合い重ねる～

岩沼市の西部地区で、現在、農業法人の新規設立が続いている。

今年に入って、立て続けに4つの農業法人が、新たに地域の農業の顔となった。



(農)みいろよし 設立総会



(農)小川サン・ファーム 設立総会



(農)玉崎 設立総会



(農)原生産組合 設立総会

市内では、現在、西部地区の圃場整備が本格化している。それに伴い今後は、自分達の地域の農業をどうしたら良いか、話し合いを続けてきた。

どの地区にも共通するのが、後継者不足だ。このため法人化による後継者確保と地域での育成を視野に入れている。

岩沼市では、昨年度までに津波被災地域である東部地区の圃場整備等に伴い、法人化が進み東部地区で6つの法人が設立された。

その事業が一息つき、続いて西部地区の圃場整備が始まっているため、農地の集積を進め、法人化するのは非常に良いタイミングだ。

農家それぞれ事情が異なるため、手放しで喜ぶまでには行かないが、一人ひとりの思いを乗せていよいよ出発する。